

# 行政視察報告

視察を実施しました。以下のとおり研修内容を報告します。

## 総務常任委員会

10月10日(火)～11日(水)

10月10日 山口県周南市

### 「市民の声を聞く課による広聴事業について」

令和2年度に「市民の声を聞く課」を設置。令和4年度の意見数は780人、888件、前年度比、人数13.2%増、件数16.1%増と課の認知度向上から年々件数が伸びています。統計よりも市民の考えを軸に進めていくため、事業の本質を理解できました。

#### 委員の所見

従来よりも対応力を上げ、市民と向き合う市の状況がよく分かりました。本市も「市民の声を聞く」取り組みは実施されていますが、より市民に寄り添い、市民とともに考え、信頼関係を構築するため一層の広聴機会の拡充を図っていかねばならないと思います。

10月11日 広島県安芸高田市

### 「多文化共生のまちづくりについて」

県より譲渡の少年自然の家を改修し、多文化共生推進拠点施設「きらり」を設置。市役所内に相談窓口を設け、外国人の職員も採用して

## 厚生常任委員会

10月31日(火)～  
11月1日(水)

10月31日 山梨県中央市

### 「高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画について」

地域とのつながりが失われ、生活範囲が狭くなり、活動量が減少し、心身の機能低下が加速すると介護状態になる可能性が高い。ソーシャルフレイルを防ぐために、認知症に関する理解の促進、早期診断・早期対応、地域での生活を支えるサービスの構築を実施しています。

#### 委員の所見

社会参加することは、健康維持や認知症予防につながり、健康寿命を延ばすために重要です。通いの場があり、多趣味な高齢者は死亡リスクが低い。他者と一緒に笑う人は要介護リスクが低い。このようなことを市民の方々と共に活動していることが素晴らしいと感じました。

11月1日 愛知県みよし市

### 「令和5年度版みよし市の子育て施策について」

こども施策を加速し、切れ目のない子育て支援策として、「みよし

未来18応援金(ハピハピ18)、「保育料と給食費の無償化」「病児病後児保育」、「給食材料費物価高騰対策(幼稚園、保育園、小学校、中学校)」等充実した事業を実施しています。

#### 委員の所見

みよし市は人口6万人程ですが、令和4年の出生数は佐野市と比べて100人程しか少なくありません。子育て支援政策は23の事業に分かれており、産前から乳幼児まで、乳幼児から小学校入学まで、小学生から中学生まで、高校から大学までの支援があります。



佐野市においても現在3000人弱の外国人市民の方が生活している状況です。安芸高田市の「多文化共生」の取り組みは、今後の佐野市が行うべき指針となる部分も多いと感じました。今後は、外国人市民の皆様の社会参加を積極的に支援する必要性を痛感しました。

